

## 国語総合・現代文B

第1問 次の文章を読んで、後の問（問一～問七）に答えよ。

E T C（高速道路の自動徴収システム）やスイカ、パスモ、ピタパ、イコカといったICカードによる鉄道の自動改札は、料金所や切符販売所の混雑を大幅に減少させた。利用者の利便性をあげたと同時に、高速道路会社や鉄道会社にとってはコストの低下になっただろう。しかし、便利さの裏に落とし穴があるのも事実である。鉄道に乗る前に切符を事前に買った、料金所でお金を支払っていた時に比べて、鉄道料金や道路料金をあまり気にしなくなったということはないだろうか。

実際、マサチューセッツ工科大学のフィンケルステイン教授は、アメリカの有料道路ではE T Cの導入後、道路料金に運転手がE T Cの導入以前ほどには敏感に反応しなくなったために、道路料金はE T Cが導入されていなかった場合より二〇パーセントから四〇パーセント高くなっていることを明らかにしている。

<sup>ア</sup>ハーバード大学のチェティ教授らは、価格表示の方法が売り上げに与える影響を調べるために興味深い実験を行った。アメリカのスーパーマーケットでは、価格は「税抜き価格」だけが表示されていて、会計の際に、売上税が上乘せされた金額が表示されて支払うことになる。彼らは、北部カリフォルニアのあるスーパーで、一部の商品について「税抜き価格」だけの値札に「税抜き価格＋売上税＝税込み総額」という値札を付け加えた。この結果、この値札をつけた商品は、八パーセントも売り上げが低下したという。この地域の売上税の税率は、七・三五七パーセントだったので、消費者は単なる税額の表示方法の変更を価格上昇と感じて、税額分だけ商品購入を減らしてしまったのである。この結果は、消

費者が売上税率を知らないからもたらされたのではない。彼らの調査によれば、ほとんどの消費者は正確に売上税の税率を知っていたという。

ただし、チェティ教授らの実験は、ある特定のスーパーマーケットで一部の商品について三週間だけ行われたものである。価格の表示形式が混在しているために、消費者が価格が高くなったと誤解しやすかった可能性もある上、期間が短かったことが影響しているかもしれない。

A、彼らはより長期にわたる価格表示の効果を、酒税がビール消費に与える影響を分析することで確認した。アメリカのビールには、物品税と売上税の両方が課税される。物品税は、店頭で「税抜き価格」に含まれているが、売上税はレジで計算される。つまり、酒税という物品税は、「目立つ」税金だが、売上税は「目立たない」税金ということになる。州によって、酒税と売上税が異なる上、税率の変化のタイミングも異なるので、それぞれの税率の変化がビールの消費量に与える影響を推定できる。その結果は、物品税のパーセントの上昇は、ちょうどそれと同じ程度のパーセントのビール消費量の減少をもたらすのに対し、売上税の上昇はビール消費量にほとんど影響を与えないというものだった。

彼らの結果は、消費者はたとえ売上税を正しく知っていたとしても、店頭の価格表示でそれが示されていないと、消費行動は店頭価格だけに依存してしまうことを意味している。つまり、売上税が店頭表示されないと、消費者はそれに影響されずに消費量を決めてしまうので、売上税を実質的に負担してしまうことになる。もし、売上税が価格表示に含まれていたら、商品の売り上げが低下するので、消費税だけではなく小売店も売上税を実質的に負担していたのである。

価格の表示方法や自動支払いが否かによって、私たちが価格に対する行動を変えるということが事実であれば、<sup>1</sup> 伝統的な経済学の前提は大きく崩れてしまう。最も大きな影響を受けるのは、税に関する議論であり、それを考慮した分野が行動財政学と呼ばれている。特に、誰が本当に税を負担しているかという議論が影響を受ける。

誰が本当に負担しているかということ議論になる税の種類に、<sup>(注1)</sup> 社会保険料の労働者負担と事業主負担がある。労働者負担は、労働者には目に見えやすく、事業主負担は目に見えにくい。伝統的な経済学では、事業主負担の社会保険

料であれ、労働者負担の社会保険料であれ、手取り賃金を引き下げるといふ意味では同じなので、第一義的な負担者がどちらであるかということ、実質的な負担者が誰であるかということは無関係だと考えてきた。

**B**、経済学者以外には、直接税や社会保険料を負担することと実質的にそれらを負担することは同じだと考えられている。「A事業の費用は、事業主負担分の社会保険料から支出されているから、その使い道は、事業主の便益になるようにすべきだ」という趣旨の意見が財界から出されたり、「社会保険料の労働者負担を減らして、事業主負担を増やすべきだ」という意見が労働者側から出たりする。また、厚生労働省も公的年金の収益率を計算する際、労働者の保険料負担支払額の計算には労働者負担分しか考慮に入れない。

伝統的経済学では、社会保険料の事業主負担に対してつぎのように考える。三〇万円の価値がある労働をしている人に対して、保険料負担がない時に三〇万円を支払っていたとする。仮に、事業主負担の社会保険料が導入され、その金額が五万円になったとしよう。この企業は三〇万円の賃金に五万円の社会保険料をプラスして合計三十五万円を労働者に支払うようになるだろうか。そうはならない可能性が高い。三〇万円の価値の労働をしている人に、実質三十五万円支払うことはできないからだ。三〇万円の価値の仕事に三十五万円支払うと赤字になってしまい、長期的にはその人を雇い続けることができない。企業は、いずれ二五万円の賃金に引き下げるはずだ。

では、同じ五万円の社会保険料が労働者負担として導入されるとどうなるだろうか。企業が支払う賃金は、三〇万円のままで、労働者の手取りは二五万円になる。手取りが二五万円になると労働者がかわいそうだから賃金を引き上げようという企業は少ないだろう。どちらのケースも労働者は二五万円の手取り賃金に下がり、五万円が社会保険料となる。直接支払うのが、労働者であろうと事業主であろうと無関係である。

実は、経済学的な意味での社会保険料の実質的な負担は、直接誰が社会保険料を負担するかということとは無関係で、労働需要と労働供給が賃金変化に対してどの程度影響を受けるかによって決まるとされている。

仮に、労働者が賃金水準にかかわらず毎日八時間働きたいと思う人だけであったとしよう。この時、月給が三〇万円の

手取りから二五万円に減少したとしても働く労働者数は変わらないので、五万円の賃金低下が発生するが、生産量は影響を受けない。社会保険料は、純粹に労働者だけが負担することになる。

一方、賃金が低下すると働きたいと思う労働者数が大きく減少するのであれば、賃金の手取額の減少は社会保険料の増加分より小さくなる。この場合は、雇われ続けた労働者にとっての社会保険料負担は小さく、事業主がその多くを實質的に負担することになる。また、労働者が手取り賃金に敏感に反応して労働供給量を変える場合には、社会保険料を課すことにより、人々の行動に大きな歪みを与えることになる。

同様に、賃金にかかわりなく一定数の労働者を雇用しなければならぬという企業の場合には、事業主負担であれ労働者負担であれ、社会保険料が高くなった場合でも労働者に以前と同じ手取り賃金を保証しないと生産ができないので、高くなった社会保険料を全額企業が負担することになる。あるいは、賃金が少しでも高くなると労働者を使わずに機械を使って生産するという場合には、社会保険料が高まった部分を企業が負担することはなく、労働者がより多く負担することになる。

もし、伝統的経済学が正しければ、事業主負担の社会保険料に事業主が反対し、労働者が賛成する理由はまったくないことになる。そのような一義的な負担者と実質的な負担者が無関係であるからだ。その大前提には、労働者は社会保険料支払い後の手取り賃金を考慮して、労働供給量を決定するというものがある。

しかし、社会保険料の事業主の負担によって賃金が低下した場合と、同じ額の労働者負担によって手取り賃金が低下した場合で、労働者の働く時間が異なってくるというのであれば、話は違ってくる。どちらが実質的な賃金低下だと労働者が認識するかで、誰が負担するかが決まるのである。

**C**、労働者の労働供給に関する意思決定が、手取り賃金ではなく、社会保険料を差し引く前の賃金をもとに行われているという一種の労働者の非合理性を想定すれば、経済学者以外の一般の人の社会保険料の負担に関する考え方が正当化できる。言い換えると、社会保険料の事業主負担が賃金低下という「目立つ」かたちで転嫁されると労働者は労働供

給を大きく低下させるが、社会保険料の労働者負担という「目立たない」かたちで導入され、労働者が労働供給行動を変えないのであれば、X。

日本において、社会保険料の最終的な負担を誰がしているかについて、実証研究が最近蓄積されてきた。東京大学の岩本康志教授もとやすしと内閣府経済社会総合研究所の濱秋純哉氏はまあきじゅんやは、社会保険料の事業主負担が賃金にどのような影響を与えるかを分析し、一部は賃金低下となって労働者が負担していることを実証的に明らかにしている。また、国立社会保障・人口問題研究所の酒井正氏さかいただしは、社会保険料の事業主負担が雇用にどのような影響を与えているかを、事業主に対するアンケート調査から明らかにし、事業主負担の上昇があれば、賞与を中心とする賃金の低下と非正規労働者への代替によって事業主が対応することを示している。これらの結果が、労働者の錯覚によってもたらされているのかどうかはまだよくわかっていない。

ウ チェティ教授らが実験として行った税表示の変更は、実は日本でも大規模に行われた。二〇〇四年四月に日本の価格表示方法は、それまでの税抜き価格表示から消費税相当額を含んだ支払総額表示「総額表示」とすることが義務付けられたのだ。税抜き価格九八〇〇円の商品であれば、「税抜き九八〇〇円＋税」や「税抜き九八〇〇円、税四九〇円」という価格表示が許されていたが、消費税相当額を含めた「一〇二九〇円」という価格を表示しなければならなくなったのである。

もし、チェティ教授らの結果が正しければ、日本の家計消費は、二〇〇四年四月以降低下したはずである。この点については、内閣府が二〇〇四年に「地域の経済二〇〇四」で内閣府「景気ウォッチャー調査」を用いて簡単な分析を行っている。その結果は、「消費税総額表示方式の導入は特にスーパーに大きな影響を与えたが、その影響は二〜三か月でほぼ収束した」と結論付けている。実際、月次の家計調査から対前年同月比の消費支出の変化率を(注2)プロットしてみても消費支出全体では影響は認められない。食料品支出は、四月のみ下落しているが、すぐにもとの水準に戻っている。こうしてみると、人々は短期的には税額表示の方法に影響されて消費行動を変える可能性があるが、すべての製品の価格表示

方法が同じであれば、その影響は限定的である可能性が高い。

表面上、誰が税を払うかで行動が変わってくるのだとすれば、政府は目立たない税を選ぶことになるだろう。所得税や消費税は、**D** 課税だ。所得税は、サラリーマンであれば源泉徴収票を見たときにわかるし、自営業であれば申告する際にわかる。消費税は、買い物をするたびにわかる。ところが、法人税や事業主負担の社会保険料は、源泉徴収票にも書かれていないし、商品の値札にも書かれていない。つまり、国民の多くには、**E** 税金だ。そういう税金に、税源がシフトしていく可能性がある。そうなると今度は、「**F**」税が、実質的には貧困者により多く負担される税になってしまいかもしれない。逆に、事業主負担の税金が正社員の賃金引き下げに転嫁できないのであれば、そのコストを非正規社員や消費者が支払っているかもしれない。私たちは、「**G**」負担にだけ注意するのではなく、本当の負担に注意して、税、公共料金や社会保障制度を考えていく必要がある。

おおたけふみお  
(大竹文雄著『競争と公平感』に基づく)

(注) 1 社会保険……国民が病気、災害、失業などによって生活に困窮した時に救済することを目的とする強制加入保険。正社員は加入義務があるが、労働時間の短い非正規労働者の場合は、いくつかの要件を満たさなければ、加入義務がない。

2 プロット……(グラフなどを)描くこと。

問一

傍線部ア「ハーバード大学のチェティ教授らは、価格表示の方法が売り上げに与える影響を調べるために興味深い実験を行った」とあるが、本文中で述べられている実験内容と分析についての説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、ア。

- ① スーパーマーケットの商品の一部に税込み総額の価格表示を行ったところ、消費者はそれを価格上昇と感じて、商品の購入を控えた。続いて、酒税がビール消費に与える影響について同様の実験を行ったところ、売上税の価格表示は、その税率と同じ程度のパーセントのビール消費量を減少させた。
- ② スーパーマーケットの一部の商品について、売上税を示した総額を値札に付け加えたところ、商品の売り上げは減少した。続いて、酒税がビール消費に与える影響を分析したところ、目立つ税金である物品税の上昇はビール消費量に影響を与えたが、目立たない税金である売上税の上昇はビール消費量にあまり影響を与えなかった。
- ③ スーパーマーケットにおいて、会計の際に上乗せされる売上税をはじめから値札に表示したところ、およそ税率分の売り上げが減少した。続いて、酒税がビール消費に与える影響について調査を行ったところ、物品税の税率を知っている消費者は消費量を減少させ、税率を把握していない消費者は消費量を変化させなかった。
- ④ 一部商品の小売価格に売上税を含めた価格を表示したところ、税込み総額を表示した商品の売り上げは増加した。続いて、酒税がビール消費量に与える影響を確かめるために、ビールの値札に物品税と売上税を含めた税込み総額を表示したところ、売り上げに価格表示の影響が見られた。

問二 空欄 A ～ C に入る最も適切な言葉を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つ選べ。ただし、同じものを繰り返し使用してはならない。解答欄は、A イ・B ウ・C エ。

- ① ところが      ② なぜなら      ③ そこで      ④ つまり      ⑤ では

問三 傍線部イ「伝統的な経済学の前提」とあるが、それを説明する例として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、オ。

- ① 伝統的な経済学では、例えば社会保険料を直接支払う者が労働者であった場合、事業主は立場の弱い労働者の負担を軽くするために、保険料分だけ賃金を上昇させるように行動すると考える。
- ② 伝統的な経済学では、例えば社会保険料を直接支払う者が労働者であった場合、自らの負担を減らして、事業主負担を増やすように行動するべきだと考える。
- ③ 伝統的な経済学では、例えば社会保険料を直接支払う者が労働者であれ事業主であれ、結果として事業主の負担額も、労働者の手取りも変わらないので、人々の行動に変化は生じないと考える。
- ④ 伝統的な経済学では、例えば社会保険料を直接支払う者が事業主であった場合、事業主が一方的に不利益を被ることになるが、事業主は自らの負担が軽くなるような行動をとると考える。

問四

空欄

X

に入るものとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、カ。

- ① 実質的な負担者が事業主になる
- ② 実質的な負担者が労働者自身になる
- ③ 事業主、労働者ともに実質的な負担者となる
- ④ 事業主、労働者ともに実質的な負担者とはならない

問五

傍線部ウ「チェイティ教授らが実験として行った税表示の変更は、実は日本でも大規模に行われた」とあるが、その結果から読み取れる事柄として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、キ。

- ① 人々は価格表示が変更されたとしても消費税率を知っていることから、実際の商品の価格と税金を別個のものとして認識する可能性が高い。
- ② 人々は価格表示が変更されたとしても合理的な判断に基づいて行動する傾向にあることから、消費行動に変化は全く生じない。
- ③ 人々は価格表示が変更されても、価格の変動率が五パーセント程度であれば、普段の生活のなかで変動に気付かない可能性がある。
- ④ 人々は価格表示が変更されると消費行動を変えるが、すべての製品の価格表示方法が同じであれば、その行動の変化は一時的な現象である可能性が高い。

問六 空欄  ～  に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、。

- |             |           |         |         |
|-------------|-----------|---------|---------|
| ① D 目に付く    | E 目に見えづらい | F 可視的な  | G 不可視的な |
| ② D 目に見えない  | E 目に見えやすい | F 明瞭な   | G 明確な   |
| ③ D 目に見えやすい | E 目に見えない  | F 目立たない | G 目立つ   |
| ④ D 目に見える   | E 目に見えにくい | F 不可視的な | G 不明瞭な  |

問七 本文の内容と合致するものを、次の①～⑥の中から二つ選べ。順序は問わない。解答欄は、・。

- ① ETCなどのICカードが普及することで、人々は容易に自身の支払った総額を確認することができるようになり、価格に過剰に反応するようになった。
- ② 日本においては、結果として、事業主が支払う社会保険料の一部が賃金低下というかたちで労働者の負担となっている。
- ③ 税は直接支払ったものだけが負担者となるのではなく、直接に税を支払っていないとしても、実質的な負担者になる可能性がある。
- ④ 米国政府は、消費者が不利益を被らないようにするために、物品税と売上税を含めた総額を、店頭で価格表示することを義務付けている。
- ⑤ 内閣府の調査によって、店頭価格表示が消費税相当額を含んだ総額となって以降、日本の家計消費は下落し続けたことが明らかになっている。
- ⑥ 所得税や法人税は、国民が直接手続きをして納める税であることから、実質的には国民がより多くの税を負担していることになる。

## 第2問 次の文章を読んで、後の問（問一～問七）に答えよ。

おそらくはみなさんも習ったはずの〈評論文の読解〉を思い出してください。参考書によっては、文の構造を一目で理解できるように、例文のなかでの連関構造を図示して浮かび上がらせていたりします。なかにはキーワードを目立たせるために楕円形や四角で囲んだり、それぞれの語のつながりを明示するために線で結んでいたりするものもあるでしょう。文章のなかに相関図のようなものを書くわけですね。

私の場合、大学で<sup>(注1)</sup>カントの『純粹理性批判』とか<sup>(注2)</sup>ハイデガーの『存在と時間』という難しい書物のドイツ語原典を読み解く際にも、<sup>ア</sup>そういう手法はかなり役に立ちました。たとえば代名詞からその指す名詞へのつながりを鉛筆で記して強調してみたりします。文を構成する要素の間のリンクを明示することで〈文の構造分析〉を容易にして、意味内容の把握に努めるわけです。最低限の構造なら、英語で憶えさせられた文型（構文）を思い出せばいいでしょう。一文のなかで構文が見えるのが読解や執筆の基本です。それを出発点にして別の仕方での関連の発見へと思考を広げていくのです。

その際に、<sup>イ</sup>接続詞が重要なのは言うまでもありません。フランス語では論理的結合子といつて作文では非常に重要視されますし、さらに<sup>(注3)</sup>命題論理学や述語論理学を思い浮かべると、それがほとんどこの結合子などの話であることもわかるはずです。「論理学はいくつかの接続詞や否定詞や普通詞等の語の使い方の規則である」<sup>(注4)</sup>大森莊蔵『言語・知覚・世界』と言えます。こうした接続というつながりに関する語の重要視は古代ギリシアからの伝統です。文と文とがただ無規定な順序で次々とつながるのではなく、アーチの石のようにお互いに支え合っているように書くことが重要だという意識がその時代から明確にあったのです<sup>(注5)</sup>カッシーラー)。

日本でそういうことがあまりうるさく言われないのは、日本語による表現は、文と文との間の関係を明示するというより、独立した文をいくつも連ねていくことで表す感じが強いからでしょう。

A

、逆接の意味をもつ接続詞であるは

ずの「が」や「けれども」などが、その意味を弱めて発言をだらだら続けるためだけに用いられることもよくあります。文章を書く場合に、そんな仕方で接続詞などを無意識的に使うと良い文章にはなりません。見境もなく「が」を使うと、書いた当人は力んでいるのに文章のほうは起伏に乏しい平板なものになってしまいます（注6）清水幾太郎『論文の書き方』。文の構造が曖昧になってしまうのです。

さて、こういう視点から逆に平板ではない見事な散文を眺めると、単語そのものの選び方や接続詞などによる文のつなぎ方、さらには文章全体の構成のすばらしさなどが当然のことながら浮かび上がります。それが具体的にはどのようなものであるかを少しづつ見ていきましょう。（つながり）が散文の力を生み出す姿を見定めるためです。

フランス人の教師から「同じ単語を用いるのはできる限り避けて、同じ意味をもつ別の単語や言い換えを使って、文章を書くことをしっかりと学びなさい」と授業のときに言われたことがあります。たとえば「パリ」という都市名を使ったら次には「このフランスの首都」という記述的な言い換えで表すといったことです。この例は、一定の年齢と教育水準に達した人たちにとつては、両者の指す対象がほとんどあからさまに同じなので何の問題もないはずですが。この二つの表現のつながりは、いわば初歩的な教育によって習得されています。

では（注7）フレイゲという人が使った<sup>ウ</sup>次の例はどうでしょうか。「明けの明星」と「宵の明星」とは（記述の意味）としては違うけれども（指し示す対象）は同じ金星だという例です。「パリ」と「このフランスの首都」はほぼストレートにつながります。けれども「明けの明星」と「宵の明星」とはどうですか。それがともに金星であることを知らない人もいるかもしれません。ということは、両者を指す対象として同じだとするには「明けの明星」と「宵の明星」という言葉の意味を理解するのは少々違った、言葉が指す対象についての最低限の天文学的知識が必要なのです。

**B**、関連する語をきちんと意識して文章を読み解く際も、また書く際にも、それなりの知識が前提とされるといふことがわかります。そうでないと語と語との間の（つながり）が見えない場合があります、それらの語をうまく使えないかもしれないのです。

いまの二つの例は、ある言語表現の指し示す対象が同じという場合の、その対象がそれほど問題もなく見つかる場合です。しかし、<sup>工</sup>普通の言葉ではそんなに簡単にはいきません。

たとえば「愛」と「恋」とは同じでしょうか。つまり同義語（同意語）でしょうか。「同じだ」という人もいるし「違う」という人もいます。「あれっ、違うの？」とろたえる人もいたりします。

金星のように具体的なものとして、「愛」とか「恋」という言葉の指し示す対象が存在していて、それらが同じかどうかを検討することはできるでしょうか。<sup>(注8)</sup> プラトン主義ふうのアイデアでも前提としないかぎり、そんなことが簡単にはできそうにないですよ。指示対象に寄りかかるような仕方では、いま掲げた二つの言葉の意味が「同じ」だと見えそうにありません。ここでは、言葉の指し示す対象を探すというよりも、「愛」と「恋」という言葉についてあなた自身ができるように考えるのが問われているのです。同義語かどうかは自分の考える内容、言うなれば思想に依存するわけです。

これほど基本的と思える言葉についてもこうした事情なのです。ある人が文章を書き他人がその文章を読み解くという場合に微妙なズレが生じかねないのは当然です。そういうズレを引き受けて私たちは文章を読み、また書かなければなりません。そもそも隣の人が「このバラはなんて見事な赤さをしているのだろう」と言ったとして、その隣の人の「見事な赤さ」の知覚とあなたがそのバラについても「知覚とが同じかどうかを確かめることなんて金輪際できないのですから。」（赤い）というとても具体的な言葉を使っている場面でも、あなたがあなたであるかぎり、別の人がどのようにその事態を知覚し理解しているかなど確かめる術は<sup>すべ</sup>はないのです（大森莊蔵『言語・知覚・世界』）。

いずれにせよ、他人が書いた文章を読むときには、その人がある語と別の語とをたとえば「同義語」のように理解しているのかどうかを、推測を交えてあなた自身が判定を下しながら読み解いていく作業が必要なわけです。もちろん、その **X** について「普通はそのようにつながっているものだ」という社会的・一般的な理解もありうるわけで、その理解を正しく取り出せるかどうかを問うこともできます。評論文に関する問題を解くという場合には、そういう類の<sup>たぐい</sup>読み解

きが基本にあります。言い換えれば、読解に関する何らかの枠組みというつながりがあらかじめ設定されているのです。いや、それがなければ母語を流暢りゅうちやうにしゃべることすらできないでしょう。言語の使用の際のつとに則る決まりとしての国語(B language)がそこでは前提とされているからです。

C、文章を読解するということはそれで完結するわけではありません。既存の答えを前提とした問題に出題者の意図に沿って答えるという場面はもちろんあるでしょうが、そうではない読解というのもありえます。言い換えれば、自分があえて問いを立てる(問題提起)ということにもっと注目すべきではないでしょうか。

(米山優著『つながりの哲学的思考——自分の頭で考えるためのレッスン』に基づく)

(注) 1 カント……ドイツの哲学者。『純粹理性批判』は著書。

2 ハイデガー……ドイツの哲学者。『存在と時間』は著書。

3 命題論理学や述語論理学……命題を記号化して論理の構造を明らかにしようとする学問。ここでは現代論理学の基礎部分を

なす分野という意味。

4 大森荘蔵……日本の哲学者。

5 カッシーラー……ドイツの哲学者、思想家。

6 清水幾太郎……日本の社会学者。

7 フレーゲ……ドイツの数学者、論理学者。

8 プラトン主義ふうのアイデア……人間が感覚で捉えている事物の原型である本質的な存在のこと。古代ギリシヤの哲学者プラ

トンが提唱した。

問一 傍線部ア「そういう手法はかなり役に立ちました」とあるが、筆者がそのように述べる理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、ア。

- ① 文を個々の構成要素に分解することによって、それぞれの言葉の意味について理解を深められるから。
- ② 図示して文章の構造をわかりやすくすることによって、難しい書物の内容も理解しやすくなるから。
- ③ 文中の語の相関を明らかにすることによって、日本語と外国語の文の構成の違いが明確になるから。
- ④ 文の連関構造を図式化することによって、外国語を翻訳するときを選択する言葉の幅が広がるから。

問二 傍線部イ「接続詞が重要なのは言うまでもありません」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、イ。

- ① 接続詞の使用を増やすことで、日本語でも文章を起伏のあるものにすることができるから。
- ② 接続詞を正しく使うことで、連結する文どうしの独立性を強調できるようになるから。
- ③ 接続詞を適切に用いることで、構造がはっきりとして理解しやすい文章になるから。
- ④ 接続詞の重要性が広く理解されることで、日本語の文章も外国語のように磨きあげられていくから。

問三 空欄 A ～ C に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、ウ。

- |   |   |      |   |         |   |        |
|---|---|------|---|---------|---|--------|
| ① | A | もちろん | B | たしかに    | C | なぜなら   |
| ② | A | 一方   | B | では      | C | それゆえ   |
| ③ | A | しかも  | B | そうだとすると | C | しかしながら |
| ④ | A | むしろ  | B | つまり     | C | このように  |

問四 傍線部ウ「次の例」とあるが、この例を示すことで筆者が言いたいことは何か。最も適切なものを、次の①～④の

中から一つ選べ。解答欄は、エ。

- ① 同じ意味をもつ別の言葉への言い換えを使うことで、深みのある文章になるということ。
- ② 言葉の意味を理解することと、言葉が指す対象について理解することとの違いはわずかだということ。
- ③ 一つ一つの語の正しい意味を意識して読むことが、読解力の向上に不可欠だということ。
- ④ 文章の読解には、ある程度の知識を前もって持っていることが求められるということ。

問五 傍線部エ「普通の言葉ではそんなに簡単にはいきません」とあるが、筆者がそのように考える理由として最も適切な

ものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、オ。

- ① 基本的と思われる言葉であっても、ある二つの言葉が同義語かどうかについて、書き手と読み手では捉え方が異なるはずであるから。

- ② 基本的と思われる言葉であっても、ある二つの言葉が同義語かどうか判断するには、読み手が独自の思想をもつことが必要になるから。
- ③ 基本的と思われる言葉であっても、ある二つの言葉の違いを正しく区別する知識を読み手が獲得するには、かなりの時間がかかるから。
- ④ 基本的と思われる言葉であっても、ある二つの言葉が同義語かどうか自分で考えるためには、アイデアを前提としなければならぬから。

問六

空欄

X

に入る言葉として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、

力。

- ① 思想      ② 知覚      ③ 文の構造      ④ つながり

問七

本文の内容と合致するものを、次の①～⑥の中から二つ選べ。順序は問わない。解答欄は、

キ

ク。

- ① 優れた日本語の文章を書くためには、文のつながりをわかりやすくして、読み手の理解を促さなければならぬ。
- ② 文章の読解には、文や語のつながりを意識し、書き手の主張を推測しながら読むことも必要である。
- ③ 文章はいくつもの接続詞でつながっているため、接続詞の正しい使い方を日本人はもっと勉強するべきである。
- ④ 文章の読解においては、文の構造から書き手の主張を推測したり、そこに自分の解釈を加えたりしてはならない。
- ⑤ 文章を読み解くためには、それなりの知識をもったうえで、文や言葉のつながりを把握する必要がある。
- ⑥ 文や言葉のつながりを図式化によって理解すれば、書き手の意図は正しく把握することができる。

第3問 次の各問（問一～問七）を読んで、それぞれの指示に従って答えよ。

問一 次のA～Eの傍線部のカタカナと、各群の①～④の傍線部のカタカナが同じ漢字となるものを、それぞれ一つ選

べ。解答欄は、A 

ア
---

・B 

イ
---

・C 

ウ
---

・D 

エ
---

・E 

オ
---

。

A 利益を社会にカ|元する。

B シ|刻な事態におちいる。

① 人々の注意をカ|起する。

① シ|義に厚い人。

② 国家間の緊張がカ|和する。

② その話のシ|偽のほどはわからない。

③ 衆人カ|視の中で行われた。

③ 意味シ|長な発言。

④ 父は来年カ|暦を迎える。

④ 産業のシ|興に努める。

C 金のソ|場が上がっている。

D キ|管支炎と診断された。

① ソ|重な音楽だった。

① 消化キ|官が弱っている。

② 貸し借りをソ|殺する。

② 民間人をキ|用する。

③ 今後の展開をソ|定する。

③ 議会のキ|能が停止する。

④ ソ|快な気分だ。

④ 進取のキ|風を尊ぶ。

E 髪を長くノ|ばす。

① 返事を後々までノ|ばす。

② 旅先での滞在を一週間ノ|ばす。

③ 入学式を五日ノ|ばす。

④ 子どもの学力をノ|ばす。

問二 次のA～Dの各群において、漢字の読み方(カタカナ表記)が正しくないものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。解答欄は、A ・B ・C ・D 。

- |             |             |            |           |             |              |             |              |
|-------------|-------------|------------|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| C           |             |            |           | A           |              |             |              |
| ④           | ③           | ②          | ①         | ④           | ③            | ②           | ①            |
| 潔<br>(イサギヨ) | 快<br>(ココチヨ) | 繕<br>(ツクロ) | 朗<br>(ホガ) | 委嘱<br>(イタク) | 卓越<br>(タクエツ) | 会得<br>(エトク) | 崇高<br>(スウコウ) |
| い           | い           | う          | らか        |             |              |             |              |

- |                  |                   |                    |                    |               |             |             |               |
|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| D                |                   |                    |                    | B             |             |             |               |
| ④                | ③                 | ②                  | ①                  | ④             | ③           | ②           | ①             |
| 異口同音<br>(イクドウオン) | 後生大事<br>(ゴシヨウダイジ) | 和洋折衷<br>(ワヨウセツチュウ) | 順風満帆<br>(ジュンブウマンポ) | 成就<br>(ジヨウジュ) | 名残<br>(ナゴリ) | 格子<br>(カクシ) | 修行<br>(シユギョウ) |

問三 次のA～Dの各群において、意味が類似している語の組み合わせとして不適切なものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。解答欄は、A  ・ B  ・ C  ・ D .

- |    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| A  |    |    |    |
| ④  | ③  | ②  | ①  |
| 失念 | 陳腐 | 肝要 | 臆病 |
| —  | —  | —  | —  |
| 忘却 | 腐心 | 重要 | 小心 |
- 
- |        |       |      |      |
|--------|-------|------|------|
| B      |       |      |      |
| ④      | ③     | ②    | ①    |
| ひげらかす  | はびこる  | いぶかる | あなどる |
| —      | —     | —    | —    |
| みせびらかす | とどこおる | あやしむ | みくびる |

- |          |       |      |      |
|----------|-------|------|------|
| C        |       |      |      |
| ④        | ③     | ②    | ①    |
| シミュレーション | メカニズム | キャリア | メリット |
| —        | —     | —    | —    |
| 模擬実験     | 制御    | 経歴   | 利点   |
- 
- |    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| D  |    |    |    |
| ④  | ③  | ②  | ①  |
| 横領 | 遺憾 | 手柄 | 突飛 |
| —  | —  | —  | —  |
| 着服 | 残念 | 功績 | 大胆 |

問四 次のA群・B群において、傍線部の送り仮名の付け方が不適切なものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。解答欄は、A  ・ B .

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| A      |        |        |         |
| ④      | ③      | ②      | ①       |
| 眠気を催す。 | 城を陥れる。 | 不正を憤る。 | 資格を失なう。 |
- 
- |            |            |           |           |
|------------|------------|-----------|-----------|
| B          |            |           |           |
| ④          | ③          | ②         | ①         |
| 山の頂だきが見える。 | 不幸中の幸いだつた。 | 火の勢いが激しい。 | 辺りかまわず泣く。 |

問五 次のA～Dにおいて、空欄に最もよく当てはまる四字熟語を、それぞれ後の①～⑧の中から一つ選べ。

解答欄は、A タ・B チ・C ツ・D テ。

A この件は  を経てようやく決着を見た。

B 現状では納期に間に合わない。人を増やして  に仕上げなさい。

C  の晴れ舞台だ。しくじらないよう念入りに準備をしておこう。

D 君はいつたいどつちの味方なんだ。  にしてもらいたいね。

① 旗幟鮮明

② 軽挙妄動

③ 率先垂範

④ 一世一代

⑤ 美辞麗句

⑥ 紆余曲折

⑦ 信賞必罰

⑧ 一氣呵成

問六 次のA～Dにおいて、傍線部の語句の使い方が不適切なものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、A  ・ B  ・ C  ・ D .

A 起源

- ① 日本語の起源を解説する。
- ② 祭りの起源を調べる。
- ③ 人類の起源を探る。
- ④ 台風三号発生の起源を解明する。

B むげに

- ① 懇願をむげに拒む。
- ② 受け取ったからにはむげに返せない。
- ③ 前方左手にはむげに富士山が見える。
- ④ 人の好意をむげにするなんてとんでもないやつだ。

C めりはり

- ① めりはりのきいた歌い方。
- ② めりはりのきいた文章。
- ③ めりはりのきいた生活。
- ④ めりはりのきいた睡眠。

D けんもほろろ

- ① 仕事の依頼はけんもほろろに断られた。
- ② 友人のけんもほろろな態度に落胆した。
- ③ 相談してみたがけんもほろろな対応だった。
- ④ 感動的な映画を見てけんもほろろに泣いた。

問七 次のA・Bにおいて、傍線部の漢字の意味が他と異なるものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、A  ・ B .

A ① 衣服

② 服飾

③ 洋服

④ 職務

B ① 情趣

② 情勢

③ 実情

④ 国情

〔国語の問題は以上です。〕